

医療と介護の連携に関するアンケート集計概要（地域包括支援センター）  
中丹西分

1 照会・回答状況

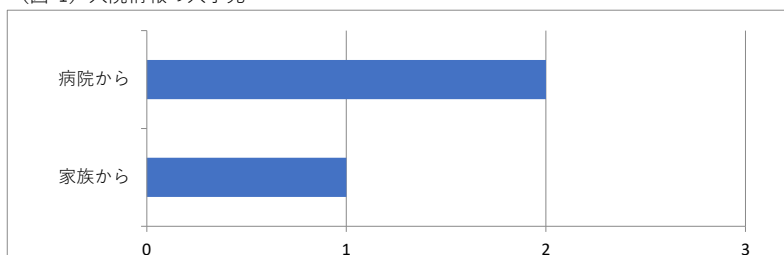
照会数	3件
回答数	3件
回答率	100%

2 アンケート集計結果

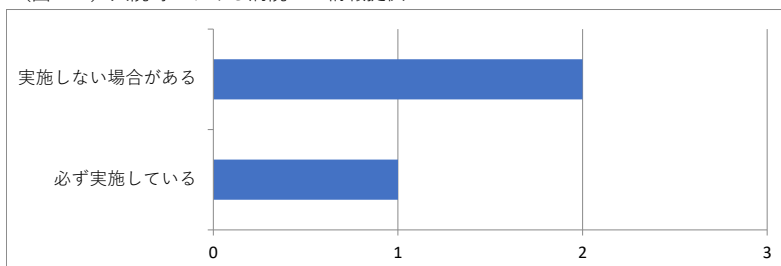
【入院時の連携について】

- ・ 入院時における病院への情報提供については、要支援であることから必要でない場合は実施しない。
- ・ 病院への情報提供に当たり、サービスの内容や家族、生活環境など居宅介護事業所と同様に追加で求められることがある。

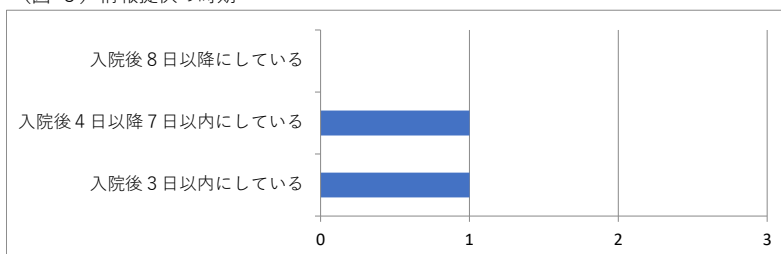
(図-1) 入院情報の入手先



(図-2) 入院時における病院への情報提供



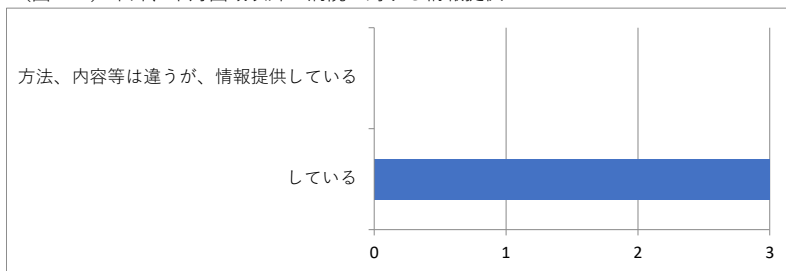
(図-3) 情報提供の時期



【市外、中丹圏域以外の病院との連携】

- ・ 市内病院と同様に情報提供がされている。

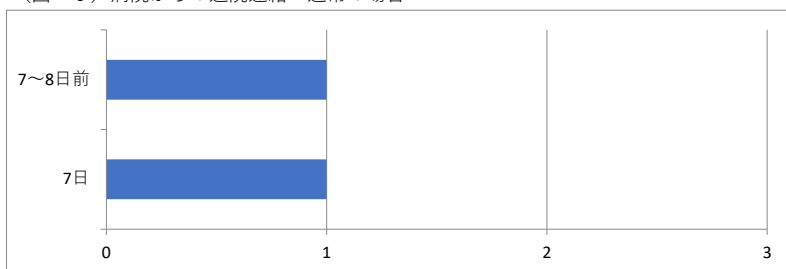
(図-4) 市外、中丹圏域以外の病院に対する情報提供



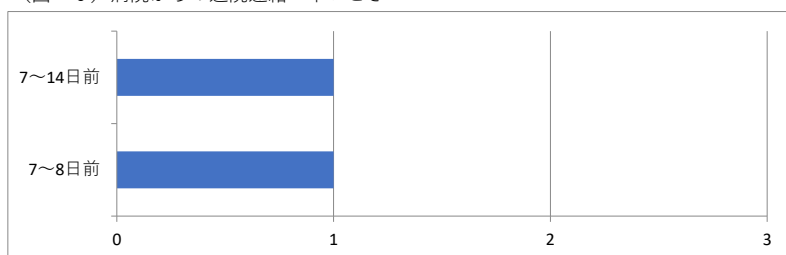
【退院時の連携について】

- ・ 病院側に退院時カンファレンスの開催を求めた際は急な退院や包括として問題ない場合以外は行われていることが多い。
- ・ 退院調整の課題としては、要介護と同様に独居等在宅復帰が難しい利用者に対し、居宅介護サービスが不足していることにより、受け入れが難しく、また、要支援については訪問介護の調整が難しいことが課題となっている。

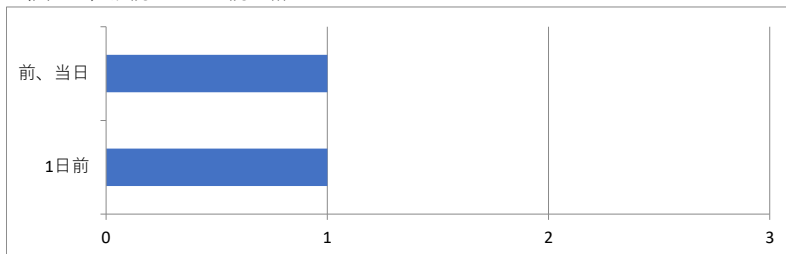
(図-5) 病院からの退院連絡<通常の場合>



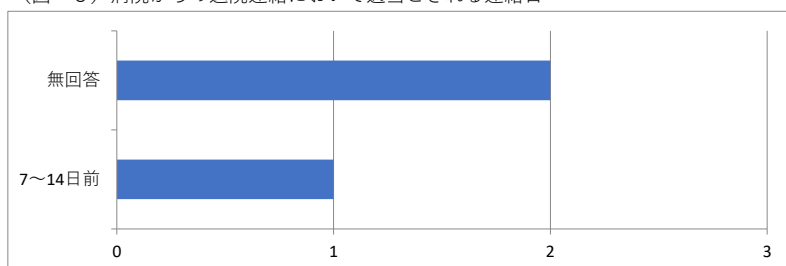
(図-6) 病院からの退院連絡<早いとき>



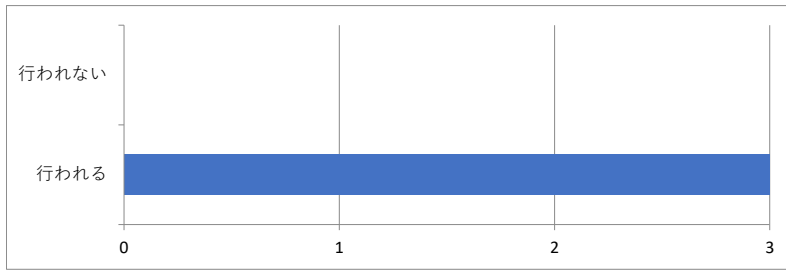
(図-7) 病院からの退院連絡<遅いとき>



(図-8) 病院からの退院連絡において適当とされる連絡日



(図-9) 退院カンファレンスの開催を求めた際



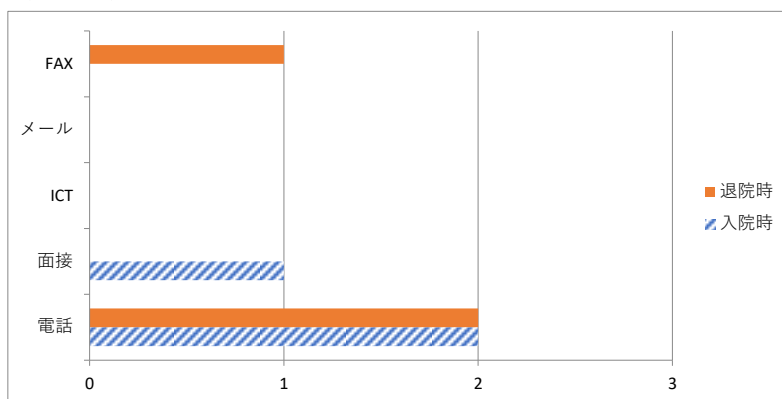
退院調整の課題（自由記載から抜粋）

- ・ サービスに限りがあるが入所できる施設がない。
- ・ 家族の介護力が弱っており、独居や日中独居も多く、退院の受け入れが難しい。
- ・ がん患者の在宅に向けて医療面（往診・訪看）の資源が少ない。

【かかりつけ医との連携について】

- ・ 入退院の連携については、電話や面接で行われている。
- ・ 課題に対する意見は特になかった。

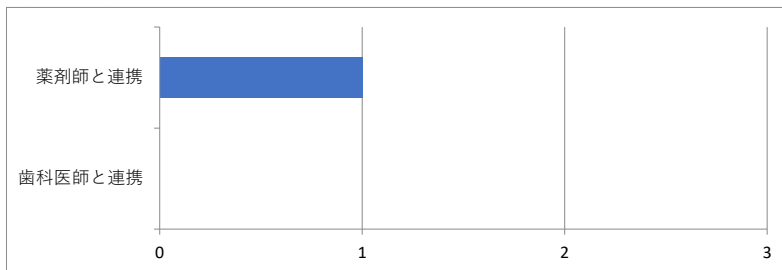
(図-10) かかりつけ医との連携方法



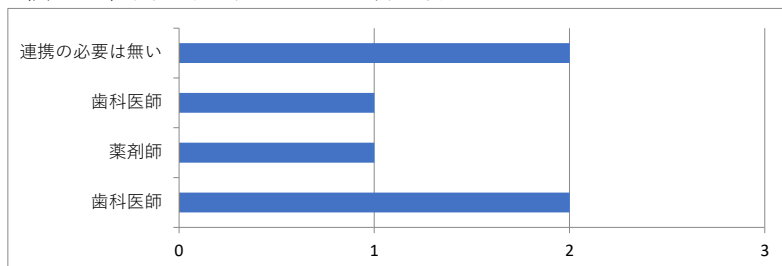
【歯科医師・薬剤師との連携について】

- ・ 連携が必要と感じる理由として、居宅介護事業所と同様に歯科医師については口腔ケ

(図-11) 歯科医師・薬剤師との連携状況



(図-12) 現在連携は取れていないが今後必要



(連携が必要な理由)

- ・ 自宅の内服管理が困難な方や義歯等が合わないが歯科受診できない方がおられる。